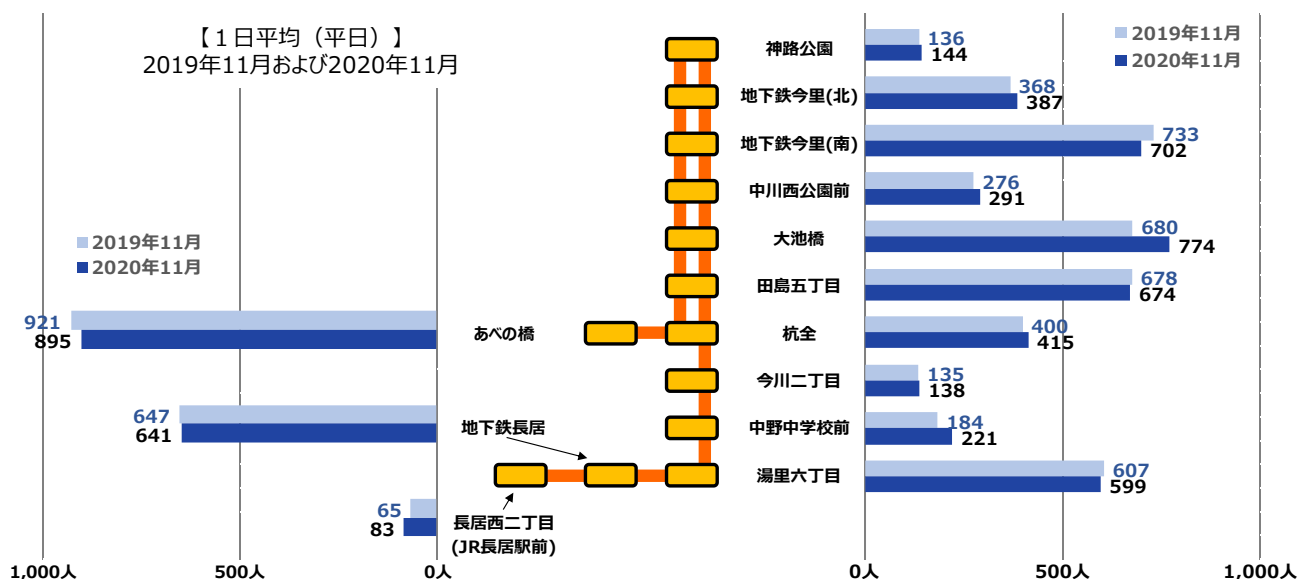


➤ 利用状況等

停留所別利用者数

- ✓ 2020年11月時点の各停留所にて乗降した利用者数は、2019年11月と比べると、新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、「大池橋」は大きく増加している。その他の停留所は概ね同水準となっている。
- ✓ 2019年11月と同様に、「中川西公園前」、「今川二丁目」、「中野中学校前」、「長居西二丁目」の利用者数は他の停留所と比べ少ないが、2019年11月に比べ、利用者数は横ばい、または、増加している。



利用区間上位10位

- ✓ 利用者数が多い区間（上位10位）は、区間や順位とも2019年11月とほとんど変化はなく、「地下鉄長居」、「あべの橋」、「地下鉄今里南」など地下鉄駅と接続する区間が上位を占めている。

【利用区間上位10位】
2019年11月と2020年11月の比較
＜1日平均（平日）＞

2019年11月		(人)
1	湯里六丁目⇒地下鉄長居	209
2	地下鉄長居⇒湯里六丁目	182
3	田島五丁目⇒あべの橋	178
4	あべの橋⇒田島五丁目	155
5	地下鉄今里南⇒大池橋	147
6	大池橋⇒地下鉄今里南	112
7	大池橋⇒あべの橋	107
8	あべの橋⇒大池橋	98
9	地下鉄今里南⇒田島五丁目	83
10	田島五丁目⇒地下鉄今里南	79

2020年11月		(人)
1	湯里六丁目⇒地下鉄長居	191
2	田島五丁目⇒あべの橋	176
3	地下鉄長居⇒湯里六丁目	166
4	あべの橋⇒田島五丁目	162
5	地下鉄今里南⇒大池橋	156
6	大池橋⇒地下鉄今里南	127
7	大池橋⇒あべの橋	111
8	あべの橋⇒大池橋	102
9	地下鉄今里南⇒田島五丁目	75
10	杭全⇒あべの橋	72

➤ 利用状況等

停留所間利用者数

- ✓ 地下鉄今里筋線延伸部（地下鉄今里から湯里六丁目）各停留所間の1便あたりの利用者数は、6～7人程度で概ね一定であるが、「杭全」より北側は長居ルート、あべの橋ルートの2ルートが重複することから、利用者数としては多い。
- ✓ 地下鉄今里筋線延伸部から東西方向について、「あべの橋～杭全」、「長居～湯里六丁目」とともに、ターミナルに接続しており、ノンストップで利便性が高いことから、利用者数が比較的多い。

【停留所別・往復別・乗降別利用者数（2020年11月）】
 <1日平均（平日）>

■凡例■

停留所に記載している数値：乗降人数

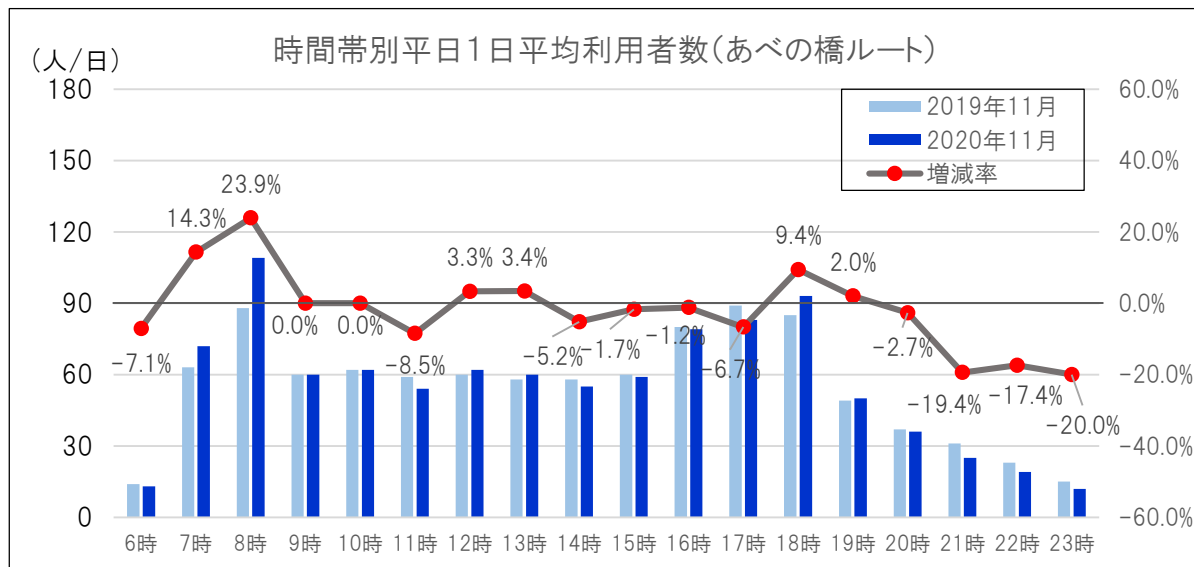
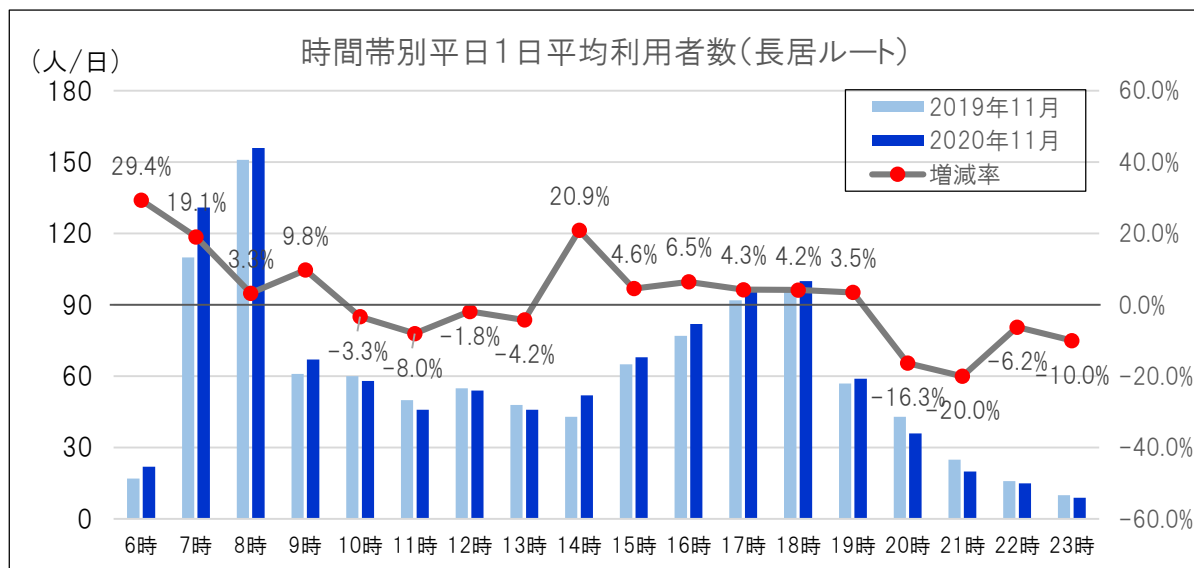
停留所間に記載している[数値]：停留所間の利用者数

停留所間に記載している(数値)：停留所間の1便あたりの利用者数



時間帯別利用者数

- ✓ 長居ルート、あべの橋ルートともに2019年11月に比べ、7時及び8時台の利用者数が増加しており、通勤及び通学の交通手段として定着が進んでいると考えられる。
- ✓ 長居ルート、あべの橋ルートともに2019年11月に比べ、20時以降の利用者数が減少しており、新型コロナウイルス感染症により、利用者が帰宅時間を早めている影響と考えられる。
- ✓ 長居ルートは、あべの橋ルートに比べ、朝夕ラッシュ時間帯（7・8・17・18時）と昼間時間帯との利用者数の差が大きく、通勤や通学を目的とした利用が多いと考えられる。



時間帯別利用者数について

時間帯別利用者数は、対象者を全利用者のうち、システムで把握可能なICカード（大阪市敬老優待乗車証含む）で乗車された利用者に限定し、降車時の時間帯別に集計したものの。

○長居ルート

2019年11月：全利用者数1,549人のうち1,076人
2020年11月：全利用者数1,564人のうち1,116人

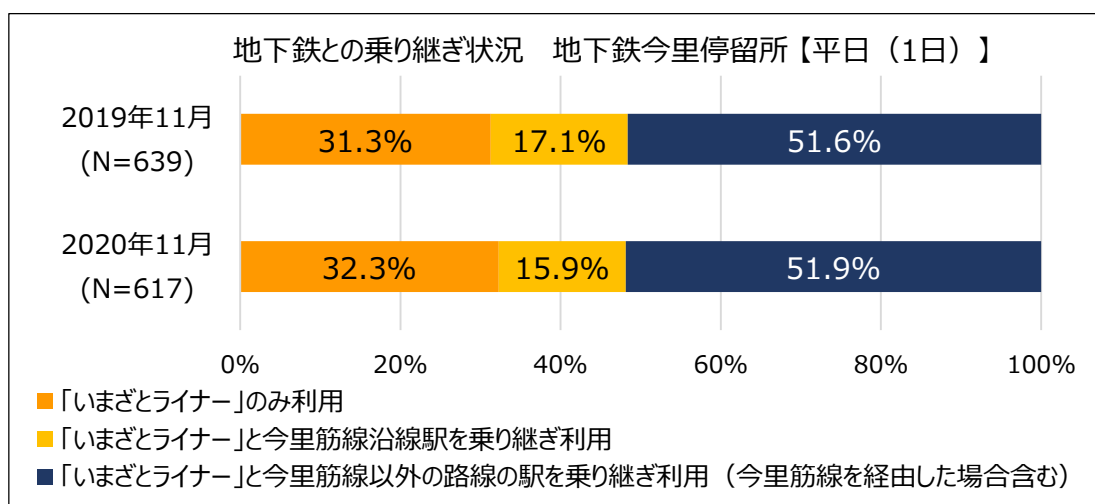
○あべの橋ルート

2019年11月：全利用者数1,466人のうち990人
2020年11月：全利用者数1,418人のうち1,002人

➤ 利用状況等

地下鉄今里停留所における乗り継ぎ状況

- ✓地下鉄今里停留所でいまざとライナーを乗降した利用者のうち、いまざとライナー単独利用は約32%となっている。
- ✓一方、地下鉄との乗り継ぎ利用は約68%であり、そのうち、地下鉄今里筋線の各駅にて乗降した人（いまざとライナーと地下鉄今里筋線各駅を乗り継ぎ利用）は約16%となっている。
- ✓2020年11月の利用状況は、前年と比べ、構成比にほとんど変化は見受けられない。



乗り継ぎ状況について

地下鉄の交通調査実施日（平日（11月の第2週目の火曜日））に地下鉄今里停留所でいまざとライナーを乗降した利用者のうち、ICカードで利用した人数（2019年11月：639人、2020年11月：617人）について、乗り継ぎ状況別に集計したもの。